

simc News Letter

Sendai International Music Competition

2021年5月号

仙台国際音楽コンクールニュースレター

第8回仙台国際音楽コンクール

【開催日程】ヴァイオリン部門：2022.5.21(土)～6.5(日) ピアノ部門：2022.6.11(土)～6.26(日) 申込受付期間：2021.6.10(木)～11.10(水)

第8回仙台国際音楽コンクール ピアノ部門課題曲解説

萩谷 由喜子(音楽評論家)

2001年の第1回以来、3年サイクルで開催されてきた仙台国際音楽コンクールが2022年5月～6月に第8回を迎える。同コンクールはヴァイオリン、ピアノの2部門からなるが、ここではピアノ部門の課題曲について考察する。

このコンクールの一貫した指針。それは、これから世に羽ばたこうとしている演奏家の卵たちに、独奏曲もさることながら、協奏曲!!をしっかりと学んでもらう、という、審査委員の親心とも悲願ともいべきポリシーだ。ピアノの歴史400余年を通じて生まれた星の数ほどのピアノ作品のうち、数では独奏曲に及ばずとも、協奏曲の重要度は計り知れない。モーツァルト時代からすでにピアノ協奏曲は演奏会の花形プログラムであったから、ウィーンでフリーランスの音楽家生活を開始したモーツァルトはせっせとピアノ協奏曲を書いた。お客たちは皆、彼の自演するピアノ協奏曲を聴きたさに大枚払って彼主催の演奏会を予約し、その収益によってモーツァルトの生活は成り立ったのである。ベートーヴェンも5曲のピアノ協奏曲中4曲まで自身が独奏者となって初演することでピアニスト、作曲家としての名を高めていった。ショパンも祖国ポーランドを旅立つ直前に2曲の協奏曲を書き上げ、それを手土産にウィーンへと向かった。



現代でも、オーケストラと協演してピアノ協奏曲をどれほど達者に弾けるか、ということが、ピアニストとしての成功の鍵となる。ピアニスターたるもの、独奏曲の演奏にいかにも優れていようとそれだけでは充分ではない。オーケストラから招かれて協奏曲のソリストを務めて初めて、プロフェッショナルな演奏家と認められたと言えるし、そのギャランティ収入が生活を支える。

ところが、ピアニストを目指す若手たちにとって、実際に本物の、それもプロのオーケストラとの協演機会など、宝くじ並みに稀である。その数少ない協奏曲体験のできる場がコンクールである。しかしながら、通常のコンクールでは、協奏曲が課題とされるのはファイナルのみ、それも大抵は1曲だ。例えば、ショパン国際ピアノコンクールの場合も、ショパンの2曲の協奏曲からいずれかを選択する。それに対して仙台国際音楽コンクールでは、ファイナルに2曲が課されているばかりではなく、セミファイナルも協奏曲1曲で勝負する。だから、参加者は全員、3曲の協奏曲を準備する必要があり、セミファイナルまで進めれば、少なくとも1曲をオーケストラと協演でき、ファイナル進出を果たせば、3曲とも実体験できる。これがどれほどまたとない機会であるかは、前回や前々回のファイナリストたちの大半が、プロ・オーケストラとの本格的協演は仙台で初めて体験できた、と語っていたことからよくわかる。こうした課題設定が可能であるのも、仙台の地には仙台フィルハーモニー管弦楽団という優れたプロ・オーケストラが存在するからだ。



というわけで、今回第8回の課題曲をみると、まず予選は「任意の独奏曲で、35分以上かつ40分を超えない演奏時間のリサイタルプログラムを構成し、演奏する」とされる。ただし、「J.S.バッハ、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、メンデルスゾーン、ショパン、シューマン、ブラームスの作品から1曲以上、かつ、10分以上の演奏を含めなければならない」とされ、ソナタを選んだ場合には全楽章の演奏が条件となっている。これは独奏曲の歴史的レパートリーをどれくらいきちんと勉強できているかを問うもので、プログラム構成センスも試される。必須枠に入っている作曲家はショパン以外すべて独逸系だが、任意枠で他の国と時代の作品も自由に組み込めるから、必須部分とのバランスをうまくとって、自分の独自性もアピールしながら全体としてプロポーションのよいリサイタルプログラムに仕上げることが大事であろう。



この審査段階を通過できれば、次はセミファイナルだ。ここでは、モーツァルトがウィーン定住3年後の1784年に作曲したピアノ協奏曲 変口長調 K450、二長調 K451、ト長調 K453、変口長調 K456、ヘ長調 K459の5曲、及び、ベートーヴェンの初期2曲、第1番 八長調 op.15と第2番 変口長調 op.19の2曲、計7曲から任意の1曲を選んで仙台フィルと協演する。これら7曲は重要度の割に勉強機会に乏しいという共通性があり、その意味からもセミファイナル用に勉強しておくことに大きな意義がある。

前回第7回のセミファイナル課題曲は、ベートーヴェンの第3番 八短調 op.37または、第4番 ト長調 op.58のいずれかであったが、今回この2曲はファイナルの第1群に移動した。それはこの2曲が(→裏面へ続く)

完成された名作であるため、モーツァルト後期の6大名作と共にファイナルの第1群を形成するにふさわしい、との判断からであろう。



そしていよいよファイナルでは、2群の課題協奏曲から1曲ずつ選択する。第1群は、前述のようにモーツァルト後期の6つの協奏曲、二短調 K466、ハ長調 K467、変ホ長調 K482、ハ短調 K491、ハ長調 K503、変口長調 K595、及び、ベートーヴェンの第3番 ハ短調 op.37 と第4番 ト長調 op.58の8曲だ。

そして第2群は、ベートーヴェンの第5番 変ホ長調 op.73「皇帝」、ショパンの第1番 ホ短調 op.11 と第2番 へ短調 op.21、シューマンのイ短調 op.54、リストの第1番 変ホ長調 S124と第2番 イ長調 S125、ブラームスの第1番 二短調 op.15 と第2番 変口長調 op.83、サン＝サーンスの第2番 ト短調 op.22、第4番 ハ短調 op.44、第5番 へ長調 op.103「エジプト風」、チャイコフスキーの第1番 変口短調 op.23、ラフマニノフの第2番 ハ短調 op.18、第3番 二短調 op.30、パガニーニの主題による狂詩曲 op.43、ラヴェルのピアノ協奏曲 ト調、バルトークの第3番 Sz119、そして、プロコフィエフの第2番 ト短調 op.16 と第3番 ハ長調 op.26、それに矢代秋雄のピアノ協奏曲の計20曲である。

このうち、サン＝サーンスの3曲が課題曲に復活し、矢代秋雄の協奏曲が新たに加わるなど、コンクールがより多様性のある逸材を受け容れようとしていること、日本人作曲家、矢代の協奏曲を歴史的国際的な名曲と認定していることが伝わってきて、嬉しい限りである。



第8回仙台国際音楽コンクール ピアノ部門概要

- ・開催期間:ピアノ部門:2022年6月11日(土)～6月26日(日) ・会場:日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)
- ・出場資格:1992年1月1日以降に出生した者(国籍不問)
- ・運営委員長:野島 稔 ・審査委員長:野平 一郎(ピアノ部門) ・課題曲:協奏曲を中心に構成 ・申込受付期間:2021年6月10日(木)～11月10日(水)
- ・審査構成:コンクールは予選、セミファイナルおよびファイナルの各審査段階で構成する。コンクールの出場者を決定するために、動画データ等の提出物による予備審査を行う。
- ・オーケストラ:【ピアノ部門セミファイナル、ファイナル】仙台フィルハーモニー管弦楽団(指揮:高関 健)

◆課題曲

予選

2022年6月11日(土)～6月13日(月)
[独奏]

任意の独奏曲で、35分以上かつ40分を超えない演奏時間のリサイタルプログラムを構成し、演奏する。ただし、下記の作曲家の作品から1曲以上、かつ、10分以上の演奏を含めなければならない。

J.S.バッハ、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、メンデルスゾーン、ショパン、シューマン、ブラームス

セミファイナル

2022年6月17日(金)～6月19日(日)
[オーケストラと共演]

次の曲目から1曲を選択し、演奏する。

- モーツァルト ピアノ協奏曲 変口長調 K450
- モーツァルト ピアノ協奏曲 二長調 K451
- モーツァルト ピアノ協奏曲 ト長調 K453
- モーツァルト ピアノ協奏曲 変口長調 K456
- モーツァルト ピアノ協奏曲 へ長調 K459
- ベートーヴェン ピアノ協奏曲 第1番 ハ長調 op.15
- ベートーヴェン ピアノ協奏曲 第2番 変口長調 op.19

ファイナル

2022年6月23日(木)～6月25日(土)
[オーケストラと共演]

次の①②の両方を演奏する。

①次の曲目から1曲を選択すること。

- モーツァルト ピアノ協奏曲 二短調 K466
- モーツァルト ピアノ協奏曲 ハ長調 K467
- モーツァルト ピアノ協奏曲 変ホ長調 K482
- モーツァルト ピアノ協奏曲 ハ短調 K491
- モーツァルト ピアノ協奏曲 ハ長調 K503
- モーツァルト ピアノ協奏曲 変口長調 K595
- ベートーヴェン ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 op.37
- ベートーヴェン ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 op.58

②次の曲目から1曲を選択すること。

- ベートーヴェン ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73「皇帝」
- ショパン ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 op.11
- ショパン ピアノ協奏曲 第2番 へ短調 op.21
- シューマン ピアノ協奏曲 イ短調 op.54
- リスト ピアノ協奏曲 第1番 変ホ長調 S124
- リスト ピアノ協奏曲 第2番 イ長調 S125
- ブラームス ピアノ協奏曲 第1番 二短調 op.15
- ブラームス ピアノ協奏曲 第2番 変口長調 op.83
- サン＝サーンス ピアノ協奏曲 第2番 ト短調 op.22
- サン＝サーンス ピアノ協奏曲 第4番 ハ短調 op.44
- サン＝サーンス ピアノ協奏曲 第5番 へ長調 op.103「エジプト風」
- チャイコフスキー ピアノ協奏曲 第1番 変口短調 op.23
- ラフマニノフ ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 op.18
- ラフマニノフ ピアノ協奏曲 第3番 二短調 op.30
- ラフマニノフ バガニーニの主題による狂詩曲 op.43
- ラヴェル ピアノ協奏曲 ト調
- バルトーク ピアノ協奏曲 第3番 Sz119
- プロコフィエフ ピアノ協奏曲 第2番 ト短調 op.16
- プロコフィエフ ピアノ協奏曲 第3番 ハ長調 op.26
- 矢代秋雄 ピアノ協奏曲

第7回仙台国際音楽コンクール公式CD発売中!

定価:2,640円(税込) 全国のCDショップで取扱中!!



チェ・ヒョンロク
CHOI Hyounglok
ピアノ部門優勝者

- [FOCD9825]
- モーツァルト:ピアノ協奏曲 ト長調 K453
- *ファイナル演奏曲
- チャイコフスキー:ピアノ協奏曲 第1番 変口短調 op.23
- *ガラコンサート演奏曲
- 指揮:広上 淳一
- 管弦楽:仙台フィルハーモニー管弦楽団



シャノン・リー
Shannon LEE
ヴァイオリン部門最高位(第2位)

- [FOCD9824]
- バルトーク:ヴァイオリン協奏曲 第2番 Sz112
- *セミファイナル演奏曲
- モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲 二長調 K218
- *ファイナル演奏曲
- 指揮:高関 健
- 管弦楽:仙台フィルハーモニー管弦楽団



■お問い合わせ先/公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel: 022-727-1872 Fax: 022-727-1873 E-mail: info@simc.jp URL: https://simc.jp